

「ごみ最終処分場はあと10余年の寿命

排出されたごみは、焼却や埋め立てなどの方法で処分されてきました。ところが、このままだと最終処分場（埋め立て地）は、あと10余年で一杯になってしまいます。

新たな最終処分場の建設には、多額の費用（税金）が必要です。リサイクルを推進し、ごみの減量を図ることで、今ある最終処分場は、長く利用できるのです。

「ごみ減量目標

平成18年度までに13%削減

増え続けるごみを減らすため、市では平成18年度までに14年度排出量を基準として、13パーセント削減することを目標にしました。普段、私たちが出すごみには、どのようなものがあるのでしょうか

平成14年度 大館市ごみ排出量と処理経費

ごみの種類	排出量 (t)
燃やせるごみ	18,219
燃やせないごみ	6,027
塩ビごみ	392
粗大ごみ	297
資源ごみ	2,965
合計	27,900

1世帯年間排出量 1,157kg
 1人年間排出量 419kg
 1人1日排出量 1,148g

処理方法	処理経費 (千円)
収集運搬	175,694
焼却	304,865
最終処分	120,755
合計	601,314

1世帯年間処理費用 24,938円
 1人年間処理費用 9,030円

か。食品や食品の包み紙・容器……。良く見るとほとんど同じようなものばかりではありませんか。実は、包装材や容器が一般廃棄物の半分以上を占めています。これらが、きちんとリサイクルされれば、ごみの排出量は必ず減ることになります。

次の6つの減量ポイントを参考に、今日から「ごみの減量とリサイクル」を始めましょう。

「ごみの減量6つのポイント

ポイント1
 買い物袋（かご）の使用

買い物には、必ず袋などを持参しましょう。ごみになるレジ袋が不要になります。

ポイント2
 生ごみの減量

生ごみは多くの水分を含んでい

るため、重みがあるばかりでなく、焼却に多くの燃料が必要となります。食品の計画的な購入、食べ物を無駄・粗末にしない、ごみを出すときにはよく水を切ってからなどを心がけてください。

ポイント3
 過剰包装は避けましょう

過剰包装は、ごみを増やすばかりでなく、資源の浪費です。過剰包装した贈り物は、相手にごみも一緒に送っていることと同じです。

ポイント4
 量り売り商品の利用

食品を購入するときは、プラスチックトレーを使用した商品よりも、量り売り商品を利用しましょう。そうすることで、家庭から出されるトレーの数量が減ります。

またスーパーなどでは、トレーの回収をしていますので、購入した際にはそちらへ返却してください。

ポイント5
 再製品（エコ製品）の購入

限られた資源を大切に使うことは、私たちの義務です。再生紙を使ったトイレットペーパーやノートなど、リサイクルされた製品（エコ製品）を購入しましょう。

ポイント6
 保存容器・詰め替え容器を使用

食品を冷蔵庫などに保管するときは、繰り返し使える容器を使いましょう。シャンプーや洗剤などは、詰め替え用の商品を積極的に利用しましょう。

ごみの減量化をバックアップ

家庭用電動生ごみ処理機購入希望者募集

資格
 次のすべての条件を満たすかた。
 ・市内にお住まいのかた
 ・自分で生ごみ処理機を設置し、できたたい肥を自分で使えるかた
 ・過去5年間に市からコンポストや生ごみ処理機の補助または貸与を受けたかたが同一世帯にいないかた
 対象機器
 市内の販売店から購入する、電動式生ごみ処理機（中古品は不可）

助成件数・50件
 助成する額
 購入する金額の2分の1以内で、限度額は2万円
 受け付け開始
 6月4日（水）
 印鑑を持参してお申し込みください。
 定数になり次第締め切りです。

申請 生活環境課
 ☎49 3111（内線247）



資源ごみ回収運動に奨励金

市では、資源回収を実施している団体に、回収した量に応じて奨励金を交付しています。

交付対象団体
 PTA、子供会、町内会、老人クラブ、婦人会、青年会、その他これらに準ずる団体

対象資源物
 ・紙類：新聞紙、雑誌、ダンボール
 ・空き缶類：アルミ缶のみ
 ・空ビン類：一升ビン、ビールビン、サイダービン

交付金額
 資源物 1kg 当たり 3円
 空ビンの換算方法
 2本[㊤]及び1.8本[㊤]は1本につき1kg
 1本[㊤]及び0.6本[㊤]は1本につき0.5kg
 0.5本[㊤]以下は1本につき0.4kg



申請 生活環境課 ☎49 3111(内線247)